

東北

サンティ
TVゲーム
文具 雑貨
任天堂一次問屋直営
Tel.022-748-59
南町通り沿い
仙台市青葉区中央3-9

あすの暦

26日(火) 旧1月(小) 潮
通日 57 月齢
=仙台標準=
日出 6.14 日入 17
月出 ー 月入 10

満潮(高)	干潮(低)
川	7.21(40) 1.10(-)
鮎	21.15(-) 14.37(-)
宮古	7.07(45) 0.57(-)
青森	20.57(6) 14.21(-)
森	7.26(10) 1.39(-)
秋田	20.20(1) 14.16(-)
田	9.00(-11) 2.19(-)
酒田	19.13(-4) 12.31(-)
川	8.53(-12) 2.15(-)
鮎	19.17(-6) 12.52(-)
小名浜	7.40(35) 1.28(-)
八戸	21.34(-2) 14.55(-)

【青森総局】 017(776)
BX 017(773)
八戸 0178(43)
むつ 0175(22)

【盛岡総局】

震災伝承の意義を考える

宮城・南三陸 語り部ら意見交換

東日本大震災を語り継ぐ意義や方策を考える「東北被災地語り部フォーラム」が24日、宮城県南三陸町の南三陸ホテル観洋であった。震災から8年になるのを前にホテルが主催し、全国から約400人が参加した。

パネル討論は東日本大震災、阪神大震災の被災地の語り部らが登壇。南三陸町で活動する復興みなさん会の後藤一磨代表は「震災か

ら得た学びや気付きを受け止めることが備えとして重要だ」と強調した。

教育旅行向けに「震災学習列車」を運行する三陸鉄道(宮古市)の二橋守旅客営業課長は「防災に役立ててもらっただけでなく、子どもたちに震災のことを多くの人に伝えてほしいと話している」と述べた。

阪神大震災で消防士として救助活動に当たり、神戸市の人と防災未来センター

で語り部を務める野村勝さんは「自然災害と向き合う文化を根付かせなければならぬ」と指摘。宮城教育

大の山内明美准教授は「風化が進む中、風当たりは強くなるが語り継ぐ必要がある」と語った。

震災遺構の保存や役割を考える分科会もあった。阪神大震災の記憶を伝える北淡震災記念公園(兵庫県淡路市)前総支配人の宮本肇さんは「開館から20年が過ぎ、施設を運営する財源の



震災を語る意義を考えたパネル討論

朝河貫一の歩みたどる

福島で講演会 100人が聴講

二本松市出身の世界的歴史学者で日本人初の米エール大教授となった朝河貫一(1873~1948年)に関する講演会が23日、福島市の福島県立図書館であり、早稲田大学文学部教授の甚野尚志氏が「書簡からみた朝河貫一の歩み」と題して話した。

講演会は同図書館が朝河

関連の資料目録の改訂版を刊行した記念に開催され、約100人が聴講した。甚野氏は朝河の研究に取り組んでおり、改訂版の編集を担当した。

講演では、朝河がエール大大学院時代、文通相手の年上の米国人女性に送った書簡などを紹介。平日は約10時間勉強していたことなどが記されていたという、「厳格な日課を決める。二方心を許した女性にはとても情熱的なことを語るタイプの人だった」と分析した。

目録改訂は朝河の没後70年記念事業の一環。1992年刊行のリストのみの目録に書簡内容の解説などを

思い出づる

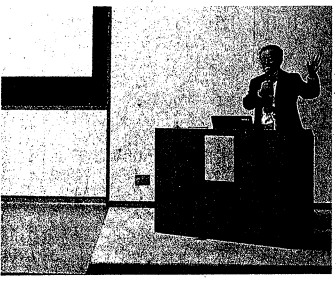
東京電力福島第一原発事故で自主避難を経験した母親の交流施設として2016年にオープンした「伊達もんもの家」(伊達市)が今月末で閉館する。交流員として運営に携わった避難経験者らが、帰還後の心境の変化などを綴った冊子を作製した。

題名は「それでも福島へこどもを育てていくために」。A5判48ページで避難経験者と支援者の10人が手記を寄せ

抱き続けた行政の担当者や専門家と向き合い「責めることだけでは問題の解決はできない」と感じたという。今では「伊達市でどう暮らしたいか必死で考えるようになった」と振り返る。

冊子は新井さんら母親4人を中心に編集した。多くは今後、市内で子育て支援に当たる予定という。交流施設の運営責任者半田節彦さん(77)は「子を育てる女性の力は非常に大きい。帰還後の経験を踏まえて社会で大きな役割を果たしてくれるだろう」と期待する。

100部を希望者に無料配布する。連絡先は伊達もんもの家(0880)33333(0)657。



講演会では、朝河がエール大大学院時代、文通相手の年上の米国人女性に送った書簡などを紹介。平日は約10時間勉強していたことなどが記されていたという、「厳格な日課を決める。二方心を許した女性にはとても情熱的なことを語るタイプの人だった」と分析した。

目録改訂は朝河の没後70年記念事業の一環。1992年刊行のリストのみの目録に書簡内容の解説などを



か、県内や東北各県の県立図書館などに寄贈した。

盛岡の郷土芸能伝統の力で魅了

市内でフェス

盛岡に伝わる郷土芸能が

一堂に全

士芸能

24日、

であった

化財や無

れていた

手町の

場者を

夏の

踊りは

区ごと

衣装と

植え踊

などの

た。

滝沢

さん

あり、

区ごと